



ニュースリリース

平成24年6月18日

千葉大学 環境リモートセンシング研究センター

## 千葉大学大型無人航空機の初飛行が成功した！

平成24年6月7日に静岡県富士川滑空場にて、千葉大学環境リモートセンシング研究センターのヨサファット研地上実証実験用大型無人航空機（JX-1）の初飛行が成功した。この大型無人航空機（JX-1）は当センターのヨサファット准教授が2005年から次世代リモートセンシング用の様々なセンサの地上実証実験のために設計開発された。この成功に続いて、今年度に当センターが開発した円偏波合成開口レーダ（CP-SAR）をはじめ、GPS掩蔽センサ、GPS-SARセンサ、ハイパースペクトルカメラ、重力場計測センサなどを搭載して、実証実験と災害監視に使用する予定である。特に、合成開口レーダ（SAR）の実証実験では、この大型無人航空機JX-1に、周波数のPバンド、Lバンド、Cバンド、Xバンド、Kuバンドなどの様々なSARセンサを搭載し、地表面の同時観測を行う予定である。

近い将来、この大型無人航空機（JX-1）に搭載される様々なセンサをヨサファット研で開発されている2機の衛星（GAI A-I IとGAI A-I I）に搭載して、大陸規模地殻変動と電離層の関係調査に貢献させる予定である。よって、大型地震の予測、災害監視などに役にたち、災害被害の軽減に結ぶと期待する。

〔参考資料〕

- 1) ヨサファット研地上実証実験用大型無人航空機の関連写真

本件に関するお問い合わせ先

千葉大学環境リモートセンシング研究センター ヨサファット准教授

Tel : 043-290-3840 Fax : 043-290-3857

E-mail : jtetukoss@faculty.chiba-u.jp

参考資料 1)



図1 ヨサファット研地上実証実験用大型無人航空機の初飛行（静岡県富士川滑空場、2012年6月7日）



図2 初飛行後の記念写真（静岡県富士川滑空場、2012年6月7日）